

とちぎ夢大地応援団活動報告（平成31年1月19日実施）

那須烏山市大木須上地区「イノシシ等獣害防止柵設置作業」

とちぎ夢大地応援団活動が那須烏山市大木須上地区において1月19日、夢大地応援団員26名、地元人有田環境保全組合（小室憲夫組合長）の組合員18名、那須烏山市農政課職員5名が参加して行われ、イノシシ等獣害を防ぐための柵を1.5kmにわたって設置しました。

当日の夢大地応援団員の内訳は、一般会員のほかボランティア団体ナルク栃木の会員7名や企業の地域社会貢献活動として参加したカルビー(株)宇都宮工場従業員3名、県農政部職員5名からです。開会式で川俣純子那須烏山市長から「多くのボランティアの方々に参加してくださり、大変うれしい」と歓迎のあいさつを受けた後、3班に分かれて地区内のソバ畑や山すそに入りました。応援団員は、地元の人たちと一緒に、ワイヤメッシュ柵を埋める人、鉄の支柱を打ち込む人、柵を結束する人などの担当に分かれて、次々とフェンスをつないでいきました。

昼食は、ビニールハウスの特設会場で、地元の女性たち手づくりのカレーライスやけんちん汁などが振る舞われました。食事後は、地元の人と参加者の間で交流を図り、午後も約1時間半、作業を行いました。

閉会式では地元の人から「おかげさまで予定した柵の設置ができた。また大木須の地に遊びに来てください」とお礼の言葉が述べられました。



開会式には川俣純子那須烏山市長（手前の人）が駆け付け歓迎のあいさつを行いました



作業前の全体でのワイヤメッシュ柵の張り方の講習



3班に分かれて作業を行いました





3カ所延べ1. 5kmにわたって柵が設置されました



昼食会場はビニールハウスの特設会場。暖かでした



メニューはカレーやけんちゃん汁、サラダ、ヨーグルト



昼食後、参加者と地元の人の中で交流会が行われました